

平成27年4月15日

各都道府県ハンドボール協会
理事長 様

(公財)日本ハンドボール協会
専務理事 川上 憲太

春の全国中学生ハンドボール選手権大会「振興枠」の設定について

日頃は(公財)日本ハンドボール協会にご理解ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、例年富山県氷見市で行われております「全国春の中学生ハンドボール選手権大会」は第10回大会が終わり実質回数10回大会(2016年第11回大会)までを一区切りとして実施を予定しておりました。

その後の開催につきましては、先般、地域活性化センターの補助事業「スポーツ拠点づくり自立促進事業」実施決定、富山県内関係諸機関との調整もつきまして、「本戦後の交流会方式」というこれまでにない特色ある大会を第15回大会(2020年3月)まで継続開催していただくことの快諾を頂きましたのでお知らせいたします。

富山県ハンドボール協会、氷見市実行委員会に心から感謝申し上げますとともに、中学生期のハンドボールの普及、発展への足掛かりが、慣れ親しんだ「春は氷見へ」の合言葉で続けられることにこの上ない喜びを感じるところであります。

また、今回の大会継続の大きな力になりましたのは富山県ハンドボール協会、中学校体育連盟をはじめとし、富山県下中学生ハンドボール関係各位のご理解とご協力の賜物であります。富山県ハンドボール協会はこの大会継続を基に、県下の中学校、中学生チームの振興発展を強く希望されておられます。

(公財)日本ハンドボール協会はその熱意とご努力に応えるため、県下の中学校、中学生チームの振興発展を願って「振興枠」として男女各1チームの参加を第15回大会(2020年3月)まで認めることにいたしましたのでお知らせいたします。

これまで10年に亘って全都道府県の参加を勧めてまいりましたが、今大会も男子1県、女子3県の代表チーム参加されていないのが現状であります。

今後、日本協会中学生専門委員会を中心に、不参加の県協会や中学校関係に本大会参加を強く勧めてまいりますが、各都道府県ハンドボール協会におかれましても、中学生年代のハンドボール活動のますますの充実と、春の全国中学生ハンドボール選手権大会への全県参加を目標として今後とも、ご理解・ご協力頂きますようお願い申し上げます。